



デジタル複数同時通話無線機

取扱説明書

BRIDGECOM X10

ブリッジコム エクステン

BM-X10



安全のための注意事項



火災や人身事故防止のため、電気製品は注意事項を必ずお守り下さい。

万が一、変な音・においがしたり煙が出たら、

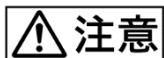
1. 電源を切る
2. 火気から遠ざける
3. 問い合わせる

*お問い合わせ先は本書最後に記載してあります。



万が一、電池の液漏れが起きた場合。

- ・ すぐに火気から遠ざけて下さい。漏れた液や気体に引火して発火、破裂するおそれがあります。
- ・ 液が目に入った場合は、擦らず、すぐにきれいな水で十分に洗い、医師の治療を受けて下さい。
- ・ 液が口に入った場合は、すぐに口を洗浄し、医師の治療を受けて下さい。
- ・ 液が身体や衣服についた時は、水でよく洗い流して下さい。



必ずお守り下さい。

- ・ 高温・低温の場所に長時間放置しないで下さい。
- ・ 本製品は端子のゴム栓をしっかりと閉めた状態で完全防水となります。
- ・ 端子のゴム栓は、配線接続時以外は必ず栓をして下さい。ゴム栓がしっかりと閉まっておらず、端子から水や液が入り、水没させますと故障の原因になります。

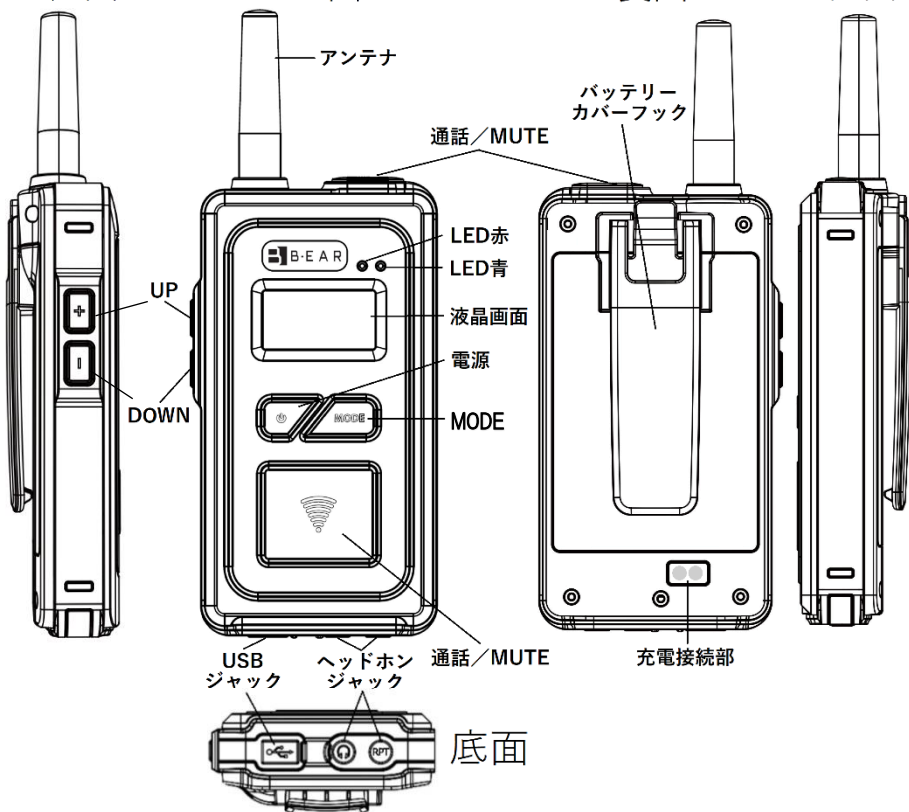
本体構造

左側面

正面

裏面

右側面



付属品

- ・取扱説明書（本書）

各種設定・使用における注意事項

1. 通信中にマスター設定された本機を操作すると、設定操作中はすべての機の通信が切断され通話できなくなります。
通信中の設定操作はお控え下さい。
また、その他の本機についても通信中に設定操作をすると、他機との通信が切断され、同グループ内の機器と通話が一時的にできなくなります。
2. 本機同士は必ず 10 cm 以上離してご使用下さい。近づき過ぎると干渉してしまい、プツプツと途切れる症状が出る場合があります。
3. バッテリーカバー、ジャックのゴム栓が、すべてしっかりと閉まった状態において防水性能 IPX7 が適合しております。
閉まっていない状態で内部に液体・粉塵等が混入し、損傷が起こった場合は保証対象外となります。
4. アンテナは、奥までねじ込んで下さい。奥までしっかりねじ込まれていないと正常に通話できません。※P5 図 1 参照
5. ヘッドホンマイクジャックの挿し込みが固いので、凹マークが本機底面に来るまで、カチッとしっかり強く挿し込んで下さい。
※P6 図 3 参照

使用の前に

通信モードについて

本機には 2 種類の通信モードがあります。

それぞれのモードには特長がございますので、使用現場や状況に合わせて使い分けて設定しご使用下さい。

同じグループ内で 2 つのモードを混在させて同時に使用することはできません。

RM モード：中継接続モード（出荷時の初期設定）

マスターID00 からの電波を、サブマスターID01 が中継する設定です。

建物や壁、フロア違い、通話者間に障害物があるなど、入り組んだ現場に適しています。

ハンズフリー同時通話は、最大 10 台の間で通話可能です。

S9 モード：スプレッドモード

マスターID00 をグループの中央付近に配置することにより、ワイドに安定的な接続が可能な設定です。

ワンフロアや比較的近いエリアでの使用に適しています。

PM モードに比べてマスターID00 と子機 ID01～ID09 間の通話距離がおおよそ 1.5 倍に伸びます。

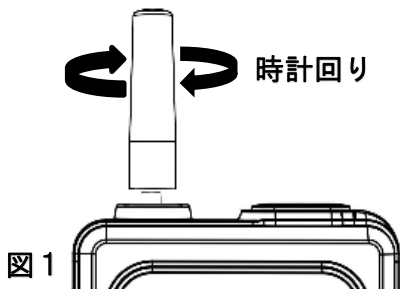
ハンズフリー同時通話は、最大 9 台の間で通話可能です。

※詳しい設定については「5.通信モード切替」を参照下さい。

使用方法

1. アンテナ取付

アンテナを図1のように取り付けて下さい。



2. 電源オン/オフ

オン：電源ボタンを数秒間長押しし、液晶画面に図2が表示されたら、電源ボタンから指を離して下さい。
LED青が点滅します。

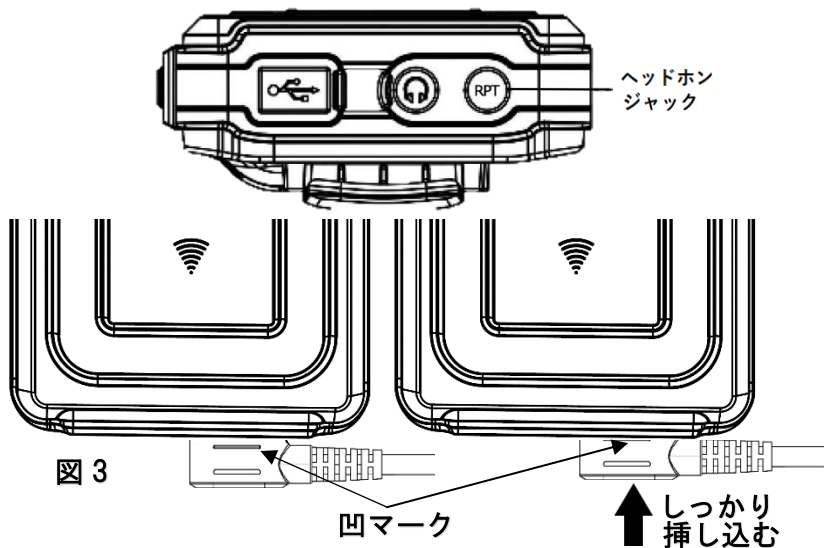


オフ：電源ボタンを数秒間長押しして下さい。液晶画面に、Power Off!!!と表示され、電源がオフになります。

※ 電源オン状態で、30秒以上ボタン操作をしないとパワーセーブ機能により液晶画面が消えます。いずれかのボタンを押すと再び液晶画面が付き、設定が可能になります。

3. ヘッドホンマイク接続

ヘッドホンジャックにヘッドホンマイクのプラグを図3のようにケーブルが本体の外側に来るように接続して下さい。



※ ジャックは防水性能を高めるためにかなり固くなっており、凹マークが本機底面に来るまで、カチッとしっかり強く押し込んで下さい。

4. 音量設定

UP/DOWN を押して音量を上下して下さい。音量は8段階です。



5. 通信モードの切替

お手元で2種類の設定を選択することが可能です。

通信モード切替手順

1.



電源を入れ、上部通話/MUTE を押し
ながら MODE を長押しして下さい



上部の画面が表示されます

2. RM か S9 が点滅し、UP もしくは DOWN を押して選択します。

MODE を長押し、電源が落ちれば設定完了です。

3. 再度電源を入れると下記のように表示されます。



RM モードを選択した場合



S9 モードを選択した場合

RM モードは ID09 と ID10 は何台でも設定できますが、ID09 で通話できるのは TALK 状態の 1 機のみとなり、ID10 は傍聴のみとなります。**※最大同時通話 10 台です。**

S9 モードは ID08 と ID09 は何台でも設定できますが、ID08 で通話できるのは TALK 状態の 1 機のみとなり、ID09 は傍聴のみとなります。**※最大同時通話 9 台です。 ※ID10 はございません。**

6. グループ設定 - 40 グループの設定が可能です。

MODE を数秒間長押しすると液晶画面に図 5 が表示され GROUP の番号が点滅するので、UP/DOWN を押して 00~39 を選択して下さい。

設定後、再度 MODE を長押しすると最初の画面に戻ります。



図 5

※ 同時に使用する機のグループ番号は、同じ番号に合わせて下さい。

7. ID 設定 - 通話番号の振り分け

MODE を数秒間長押しし GROUP の番号が点滅したら、再度 MODE を一回押すと図 6 が表示され、2. ID の番号が点滅するので、UP/DOWN を押して、RM モードの場合は 00~10 を選択し、S9 モードの場合は 00~09 を選択して下さい。



図 6

1. ID00 がマスターとなり、マスターを基点に同グループ内の他機と接続します。

2. RM モードの場合 ID01 はサブマスターとなり、マスターの中継役にもなります。
3. RM モードの場合 ID02～10、S9 モードの場合 ID01～09 は子機となります。
4. RM モードの場合 ID09、S9 モードの場合 ID08 は何台でも登録することができ、RM モードの場合 ID00～08 と S9 モードの場合は ID00～07 と同時通話が可能となります。
5. RM モードの場合 ID10、S9 モードの場合 ID09 も何台でも登録することができますが、傍聴のみとなります。
6. RM モードの場合 ID02～10 は、マスターの電波受信時はアンテナマークの横に M と表示され、サブマスターの電波受信時は S と表示されます。最適な電波を自動受信します。
図 7 がそれぞれ表示されます。



マスターの電波受信時



サブマスターの電波受信時

RM モードの場合、設定後、再度 MODE を長押しすると最初の画面に戻ります。ID 設定後、図 8、9、10 がそれぞれ表示されます。

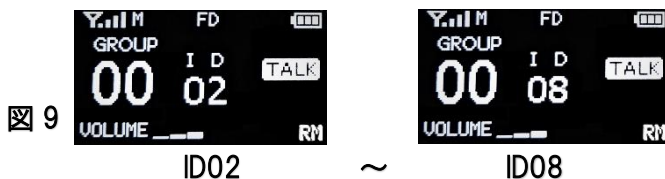


ID00 マスター

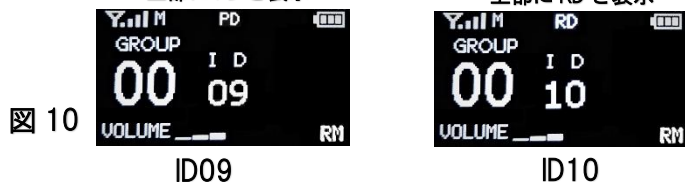


ID01 サブマスター

上部に FD と表示



上部に PD と表示

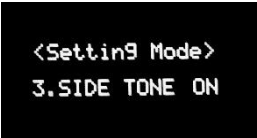


上部に RD と表示

- ※ 1 グループにつき、必ず 1 台 ID00 のマスター設定をしないと、同じグループ内での通話できません。
- ※ ID は RM モードの場合 00～08、S9 モードの場合 00～07 の番号をそれぞれ 1 台ずつ設定して下さい。同じグループ内において ID が重複すると正常に通話できません。(但し、RM モードの場合 ID09 と ID10、S9 モードの場合 ID08 と ID09 は除きます。)
- ※ ID の設定は連番である必要はありません。
- ※ RM モードの場合 ID09、S9 モードの場合 ID08 は通話できるのは TALK 状態の 1 機のみとなります。

8. サイドトーン設定 - 自分の音声のオン/オフ

MODE を数秒間長押しし、GROUP の番号が点滅したら再度 MODE を二回押しと図 11 が表示され、SIDE TONE の ON が点滅するので、UP/DOWN を押して ON または OFF を選択して下さい。設定後、再度 MODE を長押しすると最初の画面に戻ります。




<Setting Mode>
3.SIDE TONE ON

図 11

9. マイク感度設定 - 通話する相手への聞こえ方の調整

MODE を数秒間長押しし、GROUP の番号が点滅したら、再度 MODE を三回押すと図 12 が表示され、MIC GAIN の番号が点滅するので UP/DOWN を押して 1～8 を選択して下さい。

設定後、再度 MODE を長押しすると最初の画面に戻ります。



<Setting Mode>
4.MIC GAIN 1


図 12

※ マイク感度を高くすると、多少口元からマイクが離れても声を拾いますが、感度が高過ぎることにより音割れしてしまうことがありますので、使用環境に合わせて調整して下さい。

10. セキュリティコード設定 - 傍受防止機能

MODE を数秒間長押しし、GROUP の番号が点滅したら、再度 MODE を四回押すと図 13 が表示され、SEC CODE の番号が点滅するので、UP/DOWN を押して 4桁の番号を入力して下さい。番号は 0～9、A～F の 16 英数字から選択できます。

設定後、再度 MODE を長押しすると最初の画面に戻ります。



<Setting Mode>
5.SEC CODE 0000

図 13

- ※ 同じグループ内では、設定コードを同じ英数字に合わせて下さい。
- ※ 初期設定は、「0000」に設定されています。

1 1. 通話方法 - TALK オン/オフ

本機の電源を入れ、ヘッドホンマイクのプラグをヘッドホンジャックに挿し、グループと ID の設定が完了すると通話可能となります。

RM モードの場合 ID00~08、S9 モードの場合 ID00~07

通話/MUTE を長押しすると TALK が消え、TALK オフになり傍聴のみとなり、再び通話/MUTE を長押しすると TALK が表示され、TALK オンになり通話ができます。

通話ボタン付のマイクの使用については、通話ボタンを長押しして TALK オン、または TALK オフになります。



図 14

傍聴のみ



通話可能

RM モードの場合 ID09、S9 モードの場合 ID08

何台でも設定ができ、設定された本機が同時通話できるのは、通話/MUTE を長押しし TALK オンとなった 1 機のみとなり、その他は傍聴のみとなります。

再び通話/MUTE を長押しし TALK オフとなれば、その他の機も通話/MUTE を長押しすると通話可能となります。

本機上部の通話/MUTE は、押しながらの通話となります。

通話ボタン付のマイクの使用については、押しながらの通話になります。

RM モードの場合 ID10、S9 モードの場合 ID09

傍聴のみとなります。

1 2. 通話音

下記の通知音で状態をお知らせします。

「ププ」 - TALK オンにした時

通話距離範囲に戻った時

「プププ」 - TALK オフを自分から外した時

通話距離範囲から外れた時

1 3. リセット - 初期化

電源ボタンと UP/DOWN を同時に長押しし、電源が落ちるとリセットされます。

※すべての設定がリセットされ、通信モードは RM モードになります。

14. バッテリー残量

液晶画面の右上にバッテリー残量が表示されます。連続通話時間は、満充電からおよそ 12 時間です。



80%以上



80~50%



50~20%

図 15



20~1%



1%以下

※ バッテリー残量が 1%以下(残り 7 分程度)になると、数分毎にプププとアラームがなります。

15. 充電

充電は専用充電器(品番 BM-X10cg)に、本機を直接挿し込むか、バッテリーカバーフックの先端部を少し手前に引きながら、押し外し、充電池を取り出し、専用充電器に挿し込んで下さい。USB ジャックに USB 充電ケーブルを本機に直接接続して充電することも可能です。

充電中は充電 LED が赤く点灯し、充電が終了すると消灯します。バッテリーを使い切った状態から満充電までの時間は、およそ 5~6 時間です。

16. 誤作動防止設定

MODE と通話/MUTE を3秒同時に長押しします。液晶画面の表示
図16に LOCK と表示されれば、キーロックがかかります。
キーロック中は電源ボタンのみ使用できます。



※キーロック中に使用可能なボタンは電源ボタン
とボタン付き専用マイクの通話ボタンのみです。

誤動作防止設定の解除

MODE と通話/MUTE を約3秒同時に長押しします。

液晶画面の LOCK 表示が消えると、キーロックが解除されます。



キーロック解除中

仕様

周波数	ISM 2.407～2.476GHz
電波形式	GFSK - FHSS
定格出力	10mW
受信感度	- 95dBm
音声CODEC	16bit/8KHz
チャンネル数	40チャンネル
動作時間	およそ12時間
電池容量	2000mA/DC3.7V 充電式リチウムイオン電池
サイズ	H123 x W67 x D31mm ※1
重量	180g ※2
防水性能	IPX7 ※3
動作温度範囲	- 10 ~ +60°C
認証	工事設計認証005-102376、FCC、CE、RoHS

※1. サイズは最大値。アンテナ含まず

※2. バッテリー装着時

※3. バッテリーカバー、ジャックのゴム栓かプラグが、しっかりと閉まった状態にて

2021年8月更新

保証とアフターサービスについて

保証期間は、お買い上げ日から1年間(本体のみ)となります。
修理を依頼される際は、お買い求め頂いた先へご相談下さい。

品名：ブリッジコム X10
品番：BM-X10

株式会社ベアリッジ
お問い合わせサイト：<http://bearidge.com/>
電話：0569-89-7969

